

犬山市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間
平成31年度(2019)～令和10年度(2028)

針綱神社の例祭として犬山城下13町内の車山が曳き出されて行われる犬山祭では、町衆らによって車山の組み立てから曳き廻し、からくり奉納、車山の解体保管を始め、からくり操作とお囃子の練習や夏の懸装幕の虫干しなど、一年を通じた活動が展開される。370余年もの長い間、町衆らにより大切に守り伝えられてきた犬山祭の祭礼行事(ユネスコ無形文化遺産)とその舞台となる国宝犬山城を中心とした城下町の歴史的な町並みが今なお一体となって受け継がれている風景が、犬山を代表する歴史的風致と言える。

01.犬山祭にみる歴史的風致

江戸時代の武士や商人たちの暮らしぶりを想像させる町家が点在する城下町。そこで繰り広げられる犬山祭では、町民たちの結束力によって車山の曳き廻しやからくり奉納が行われ、歴史的な町の趣を一層際立たせる。



犬山祭の車山行事 ▶

02.犬山城と町衆文化にみる歴史的風致

幾多の廃城の危機を乗り越えてきた犬山城。城主と町民によって生み出された町衆文化とともに、今も人々に愛され、その心が受け継がれている。



国宝犬山城 ▶

03.木曽川周辺にみる歴史的風致

人々は昔から木曽川の恩恵と自然が生み出す癒やしを受けながら生活してきた。それは350年以上続く木曽川うかいの継承とともに、今も変わらぬ伝統の風景である。



木曽川うかい ▶

04.古代『邇波』地域の古墳群とその周辺にみる歴史的風致

犬山はその肥沃な土地と自然環境により、古代から人々の暮らしが営まれ、数多くの古墳が造られた。今もその多くが残されており、それを守ろうとする人々の活動とともに、犬山の歴史を伝えている。



史跡青塚古墳 ▶

05.石上祭にみる歴史的風致

年に一度、尾張富士に力自慢が結集し、山の頂上に巨石を上げる石上祭。頂上に積まれた数千の石や参道の献石群には、先人たちの尾張富士に寄せた祈りが刻み込まれ祭を継承する町民の活動とともに、自然と神社と地域とが一体となった歴史的風致を伝えている。



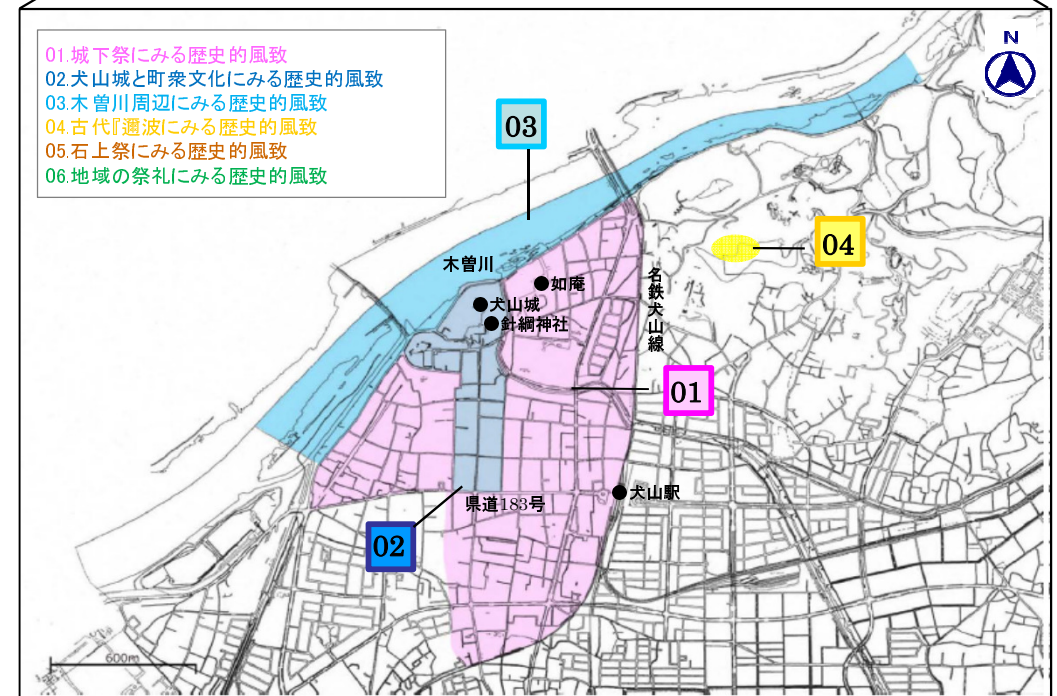
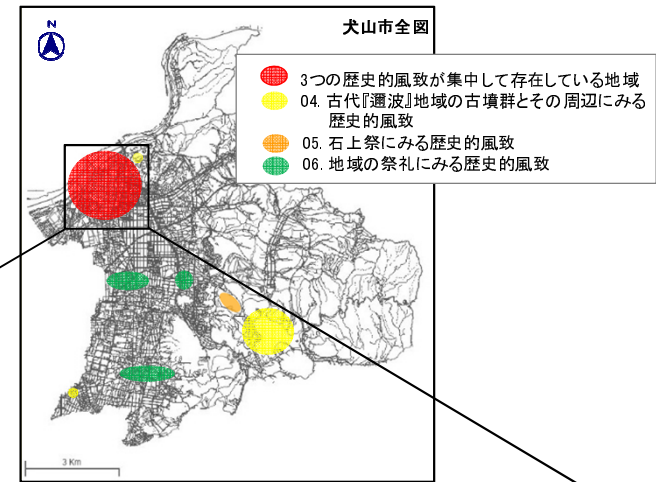
力を合わせて巨石を担ぎ上げる ▶

06.地域の祭礼にみる歴史的風致

「豊かなもりのまち」犬山には、里山や田園などの自然が豊富にあり、その自然に感謝し、自然と共生していく中で始められた慣習や祭礼が今も各地で継承されている。



大懸神社の豊年祭 ▶



犬山市の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称と面積
名称:犬山城下町周辺地区 面積:約180ha

重点区域において、歴史的建造物の保存・活用や看板等のルール化による歴史的景観の再生などを実施するとともに、市民や来訪者に犬山の歴史を体感してもらうための施設の整備など、歴史的縁を活用した地域活性化を図る。また文化財調査による歴史的価値の明確化を図り、さらには祭礼行事等の担い手育成に資する事業を推進し、歴史的風致の維持向上を図る。

④文化財保存事業費補助金事業

歴史的建造物の保存・活用を図るため、積極的に歴史的風致形成建造物への指定を進めるとともに、修理・修景費用に対する助成を行い、所有者及び管理者の負担の軽減を図る。

修景され蘇った町家 ▶



⑨福祉会館解体事業

犬山市景観計画の既存不適格建築物となっている犬山市福祉会館は、その敷地内にかつて犬山城の大手門があったことから、解体後は発掘調査を行い、大手門の遺構解明を進める。

福祉会館 ▶



⑫(仮称)文化史料館南館整備事業

犬山祭で使用されるからくり人形を中心に、座敷からくりや日本のからくり技術を紹介する施設として整備する。人形師九代玉屋庄兵衛の製作公開やからくりの実演など、からくり人形の魅力を発信していく。

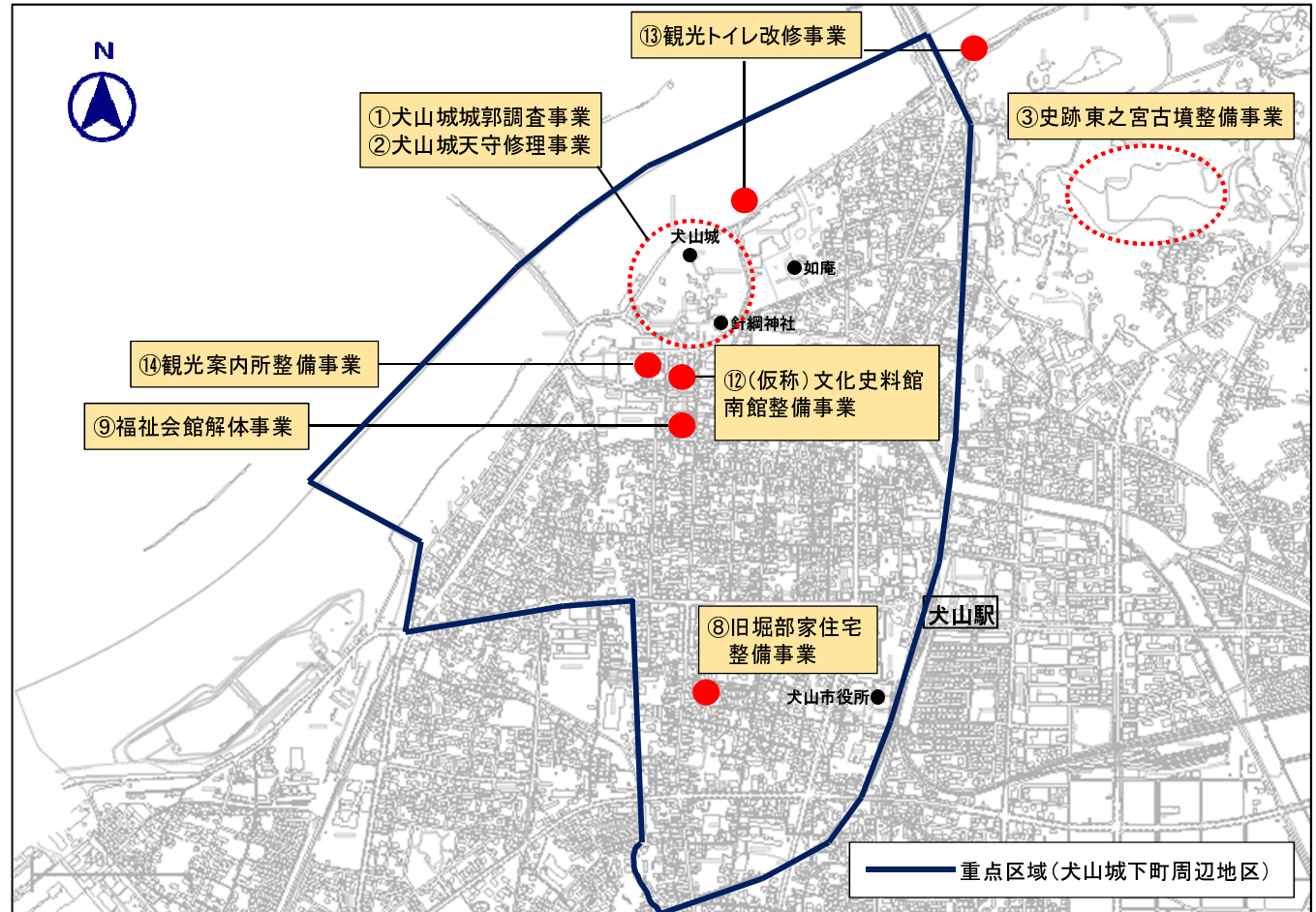
(仮称)文化史料館南館内部イメージ ▶



⑮犬山祭伝承保存事業

犬山祭の車山行事を後世に継承していくため、車山本体や幕、からくり人形等の修理や復元新調に要する費用を助成する。

犬山祭のからくり人形 ▶



■重点区域全域を対象とした事業

- ④文化財保存事業費補助金事業
- ⑤景観重要建造物助成事業
- ⑥景観形成助成事業
- ⑦犬山市歴史まちづくり賞事業
- ⑩城下町バナーワーク事業
- ⑪空き家バンク事業
- ⑮犬山祭伝承保存事業
- ⑲観光まちづくり事業
- ㉑木曽川うかい船頭育成事業
- ㉒木曽川犬山鵜飼漁法調査事業

■市全域を対象とした事業

- ⑯民俗文化財保存伝承事業
- ⑰石上祭調査事業
- ⑱犬山市市民総合大学敬道館歴史文化学部講座開催事業